

2014年10月14日

オーバーシー・チャイニーズ銀行 (OCBC) 2014/12 期 2Q (4-6 月) は増収増益、今後の海外事業展開がポイントに シンガポール | 銀行セクター | 業績レビュー



フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG OCBC SP | REUTERS OCBC.SI

- 2014/12 期 2Q (4-6 月) はセグメント全般に収益が拡大し、業績に寄与した。経常収益が前年同期比 26.1%増の 59.7 億 SGD、純利益は同 54.3%増の 9.21 億 SGD と大幅な増収増益となった。
- 主力の資金収益は同 17.2%増の 11.26 億 SGD、貸出残高は同 12.0%増の 1,770 億 SGD となった。
- 市場は、同社の 2014/12 期通期の経常収益が前期比 15.5%増の 76.45 億 SGD、純利益は同 16.6%増の 32.27 億 SGD を見込んでいる。

What is the news?

2014/12 期 2Q はセグメント全般に収益が拡大した。資金収益、非資金収益ともに大幅増収となり特に保険事業の収入が大幅に拡大し、経常収益が前年同期比 26.1%増の 59.7 億 SGD となった。また、業務拡大に伴う人件費増となったものの、コストコントロールにも引き続き注力し、営業費用は同 5.8%増の 7.6 億 SGD と低水準を維持した。その結果、純利益は同 54.3%増の 9.21 億 SGD となった。

主力の資金利益は、保有する資金が増加し経常収益が前年同期比 17.2%増の 11.26 億 SGD。ネット資金利益マージンは、貸出残高が増え利鞘が改善したことや金融市場における運用が好調だったことから前年同期の 1.64%から 1.70%へ上昇し、収益を押し上げた。さらに、増収となったウェルス・マネジメント（富裕層向け金融事業）やトレーディング業務が業績に寄与したほか、傘下の GEH（大東方ホールディングス）が増収となり、手数料収入を中心とする非資金収益が同 40.3%増の 8.5 億 SGD となった。

各地域の主要顧客向けローン業務は堅調に伸び、貸出残高が同 12.0%増の 1,770 億 SGD となった。産業別貸出金額は全て増加し特に住宅、商業や建設向けの増加が目立った。一方、預金残高は前年同期比 14.2%増の 2,010 億 SGD となった。ただ、2013/12 期から増加率がやや減速し、預貸率（貸出残高/預金残高）は 2013/12 期の 85.7%から 87.2%と未だ安全性の高い水準にあるが、やや悪化している。

リスク管理にも積極的に取り組み、不良債権比率（NPL Ratio）が 3 期連続 0.7%と安全な水準を維持し、2013/2Q 並みとなった。さらに、債権に対する引当を拡充し、引当金は 2013/2Q の 1,100 万 SGD、2014/1Q の 2,300 万 SGD から 2014/2Q は 3,600 万 SGD へ増やしている。

How do we view this?

同社は 2014/10/1、子会社化した香港の老舗銀行 Wing Hang 銀行を OCBC Wing Hang に正式変更し、香港現地やマカオのネットワークを活用し、幅広い業務の展開を目指している。同日に、ミャンマーでの銀行業資格を取得したと発表し、東南アジアへの進出強化が期待される。

業績推移

※参考レート 1SGD=83.99円(2014/10/13終値時点)

事業年度	2011/12	2012/12	2013/12	2014/12F	2015/12F
経常収益(百万SGD)	5,661	7,961	6,621	7,645	8,575
当期純利益(百万SGD)	2,312	3,993	2,768	3,227	3,564
EPS(SGD)	0.66	1.13	0.78	0.87	0.91
PER(倍)	14.73	8.57	12.42	11.14	10.65
BPS(SGD)	6.02	6.68	6.91	7.39	7.98
PBR(倍)	1.61	1.45	1.40	1.31	1.21
配当(SGD)	0.30	0.33	0.34	0.35	0.37
配当利回り(%)	3.10	3.41	3.51	3.61	3.82

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (SGD) 0.35 (予想はBloomberg)
株価 (SGD) 9.69 2014/10/13

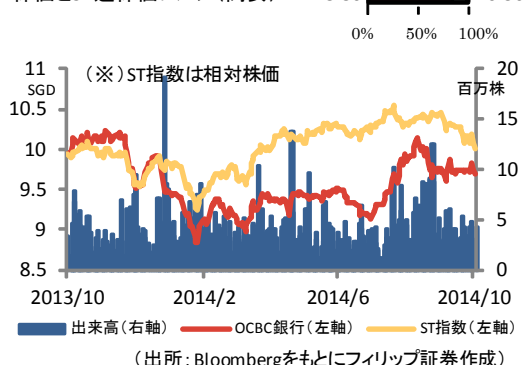
会社概要

1932年に創業、預金、法人・個人向け融資、国際貿易金融、投資銀行業、プライベートバンキング、証券仲介、資産および現金管理、保険、クレジットカードの業務を取り扱っている。

シンガポールの銀行では第2位として、世界中530の支店および事務所を有し、18カ国と地域に展開している。オーバーシー・チャイニーズ銀行NISP(インドネシア)、シンガポールとマレーシアでの最大手の保険会社である大東方ホールディングス、ライオン・グローバル・インベスターの子会社も保有している。

会社データ (2014/10/14)

ベータ値 0.99
時価総額(百万SGD) 37,761
企業価値=EV(百万SGD) -
3か月平均売買代金(百万株) 4.27
株価と52週株価レンジ(高安) 8.80 10.30



主要株主 (2014/10)

(%)
1. Selat (Pte) Ltd. 10.86
2. Aberdeen 6.59
3. Singapore Investments (Pte) Ltd. 3.22
(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

袁鳴
ming.yuan@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

庵原 浩樹
hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。